

「SNS東京ルール」の改訂について

1 「SNS東京ルール」の策定（平成27年11月）

児童・生徒が、いじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするとともに、学習への悪影響を防ぐため、SNSを利用する際のルールを策定

「SNS東京ルール」

- ① 一日の利用時間と終了時刻を決めて使おう。
- ② 自宅でスマホを使わない日をつくろう。
- ③ 必ずフィルタリングを付けて利用しよう。
- ④ 自分や他者の個人情報を載せないようにしよう。
- ⑤ 送信前には、相手の気持ちを考えて読み返そう。

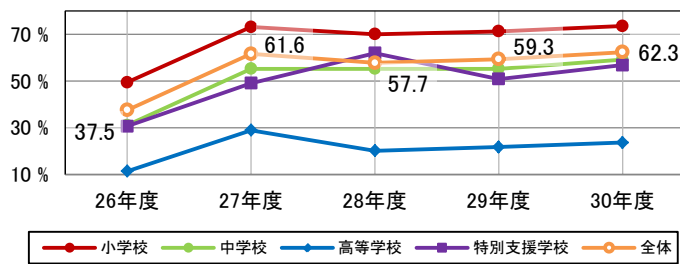
2 「SNS東京ルール」に基づく取組

- ① 「SNS学校ルール」及び「SNS家庭ルール」を作ることの指導・啓発
- ② 補助教材「SNS東京ノート」の作成・配布・活用の促進
- ③ 「情報モラル推進校」の指定、成果の共有（スマホミーティング等）
- ④ 教員の指導力向上のための「情報教育研修（情報モラル）」の実施
- ⑤ LINE株式会社との共同研究
- ⑥ 「親子情報モラル教室」の実施（都内小学校約150校）



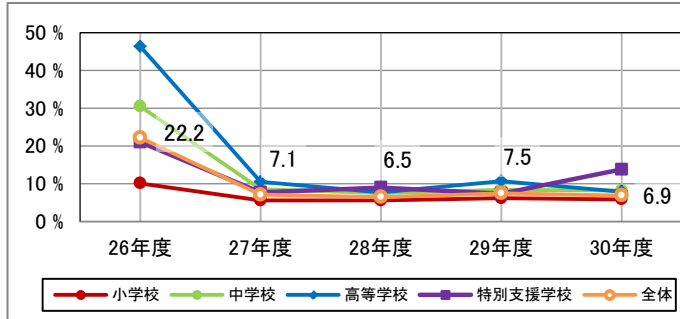
3 「SNS東京ルール」策定後の主な成果

(1) 家族ルールの作成状況（都教育委員会調査*）



→ ルールを決めている家庭が増加

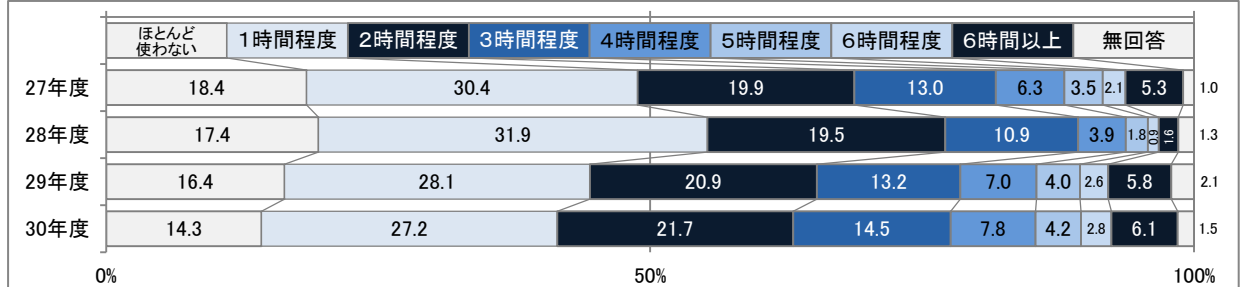
(2) インターネット利用時のトラブルや嫌な思い（都教育委員会調査*）



→ トラブルや嫌な思いをする児童・生徒が減少

4 策定後の課題

(1) 一日のインターネットの利用時間（都教育委員会調査*）



→ 2時間程度以上が増加しており、長時間化傾向

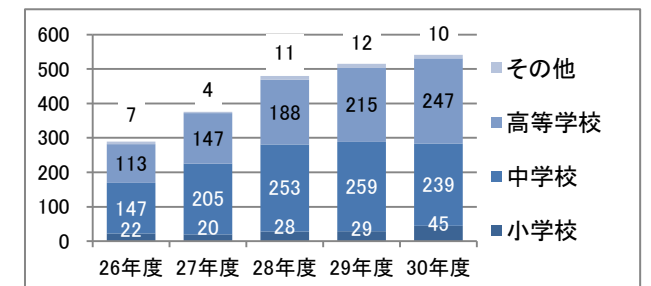
(2) 校種別アプリの使用状況（都教育委員会調査*）

	YouTube	LINE	Twitter	Instagram
小学校	81.4	37.0	6.0	7.7
中学校	90.5	80.7	32.5	27.1
高等学校	91.6	97.5	72.4	61.2
特別支援学校	92.1	59.9	22.6	13.2
全体	85.4	59.3	22.7	20.6

平成30年度調査より 単位 %

→ 情報を発信するアプリが普及

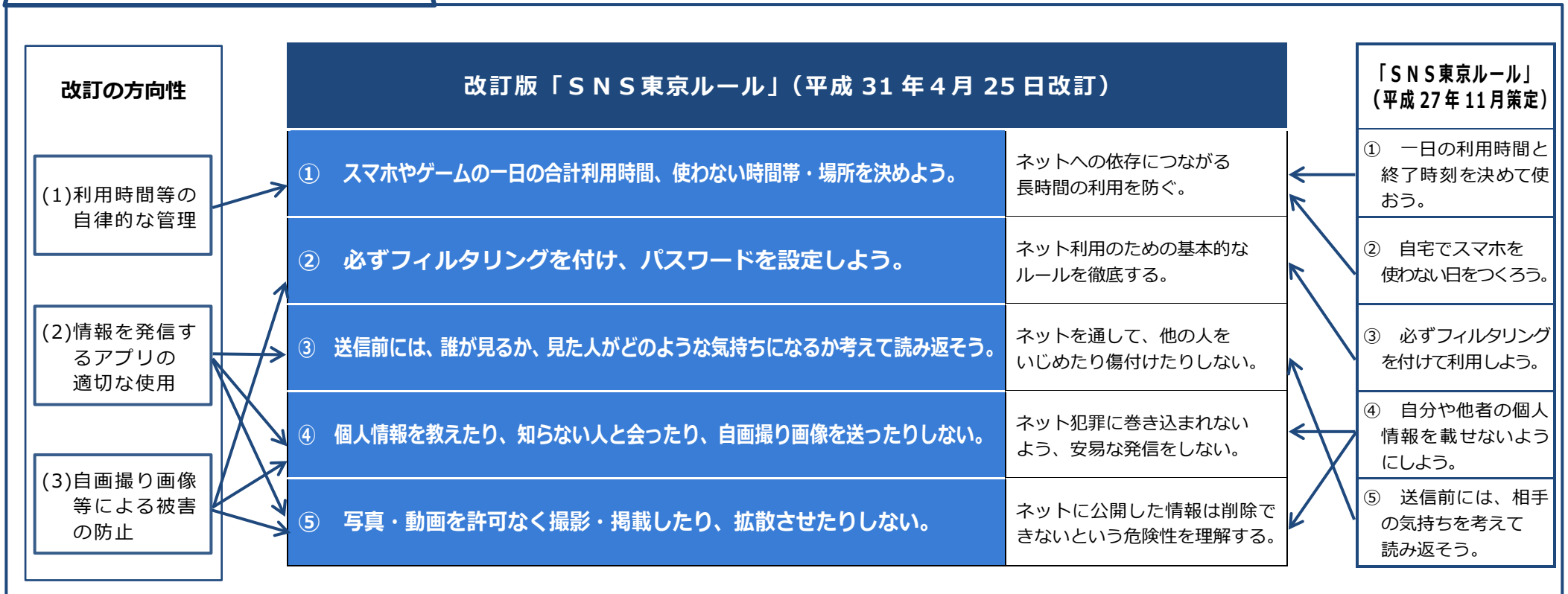
(3) 自撮り被害に遭った児童・生徒数の推移（警察庁「平成30年における子供の性被害の状況」より）



→ 自撮り被害に遭った児童・生徒数が増加

インターネットやSNS利用に関する課題に対応するため、「SNS東京ルール」を改訂することが必要

5 「SNS東京ルール」の改訂



6 今後の取組

■ 都教育委員会の取組

- ① Twitter 等による改訂後のルールの周知 (5月)
- ② 改訂後のルールに基づいた「SNS東京ノート」の改訂 (今年度中)
- ③ 「親子情報モラル教室」(小学校約150校)等による家庭への啓発 (7月から2月まで)
- ④ 研修等を通じた教員の指導力の向上 (4月・2月)
- ⑤ 「情報モラル推進校」による先進的な指導法の開発 (今年度中)
- ⑥ LINE 株式会社との共同研究 (通年)

■ 学校の取組

- ① 改訂後のルールに基づく「学校ルール」の改訂 (今年度中)
- ② 改訂後のルールに基づく「家庭ルール」の改訂に向けた啓発 (今年度中)